

板ガラスの光学的性能・熱的性能

●データ算出のための諸条件

- 1 光学的性能値は垂直入射（入射角 0°）の値です。
- 2 可視光特性は JIS R 3106:1998 に基づき CIE で定める標準の光 D₆₅ を光源として明順応比視感度より求めた値です。（可視光の波長範囲 :380 ~ 780nm）
- 3 日射特性は JIS R 3106:1998 に基づき日射の標準スペクトル分布を用いて求めた値です。（日射の波長範囲 :300 ~ 2,100nm）

※Low-E ガラス仕様製品の波長範囲 : 300 ~ 2,500nm

- 4 反射率 OUT は室外側、反射率 IN は室内側の値です。
- 5 複層ガラスおよび、合わせガラスは表の構成品種左側に示したガラスを室外側とします。

6 「ペアマルチ EA 寒冷地タイプ」「ペアマルチ Low-E 寒冷地タイプ」「ペアマルチスーパー」「セキュオペア高断熱タイプ」は Low-E ガラスを室内側とし、Low-E 膜面を中空層側とします（右図参照）。
 「ペアマルチ EA」「ペアマルチ SE」「ペアマルチ EA グリーン」「ペアマルチ Low-E」「ペアマルチレイボーク」「スクールペアエコ EA」「スクールペアエコ SE」「セキュオペア遮熱高断熱タイプ」は Low-E ガラスを室外側とし、Low-E 膜面を中空層側とします（右図参照）。

7 「ペアマルチ RL」はレフライトを室外側ガラスとして反射膜面を中空層側、「ペアマルチ RS」はレフシャインを室外側ガラスとして反射膜面を中空層側とした値です（右図参照）。

8 「レフライト S 合わせガラス」はレフライトを室外側ガラスとして反射膜面を中間膜側とした値です。

9 「レフライト」の反射膜面は上段を室内側、下段を室外側とします。「レフシャイン」は反射膜面を室内側とした値です。

10 紫外線透過率は ISO 9050:2003 に基づいて求めた値です。

11 熱貫流率は JIS R 3107:1998 に基づいて求めた値です（冬の値です）。

熱貫流率とは室外側の周囲空気温度と室内側の周囲空気温度との差 1℃当たり、そのガラスの中央部を貫流する熱流束をいい、値が小さいほど断熱性能に優れています。

我国では従来慣習として K 値と呼んでいましたが ISO に従って U 値とも呼ばれています。

表には従来単位と SI 単位を併記しています。

・U 値 W / (m² · K)

・K 値 kcal / m² h℃

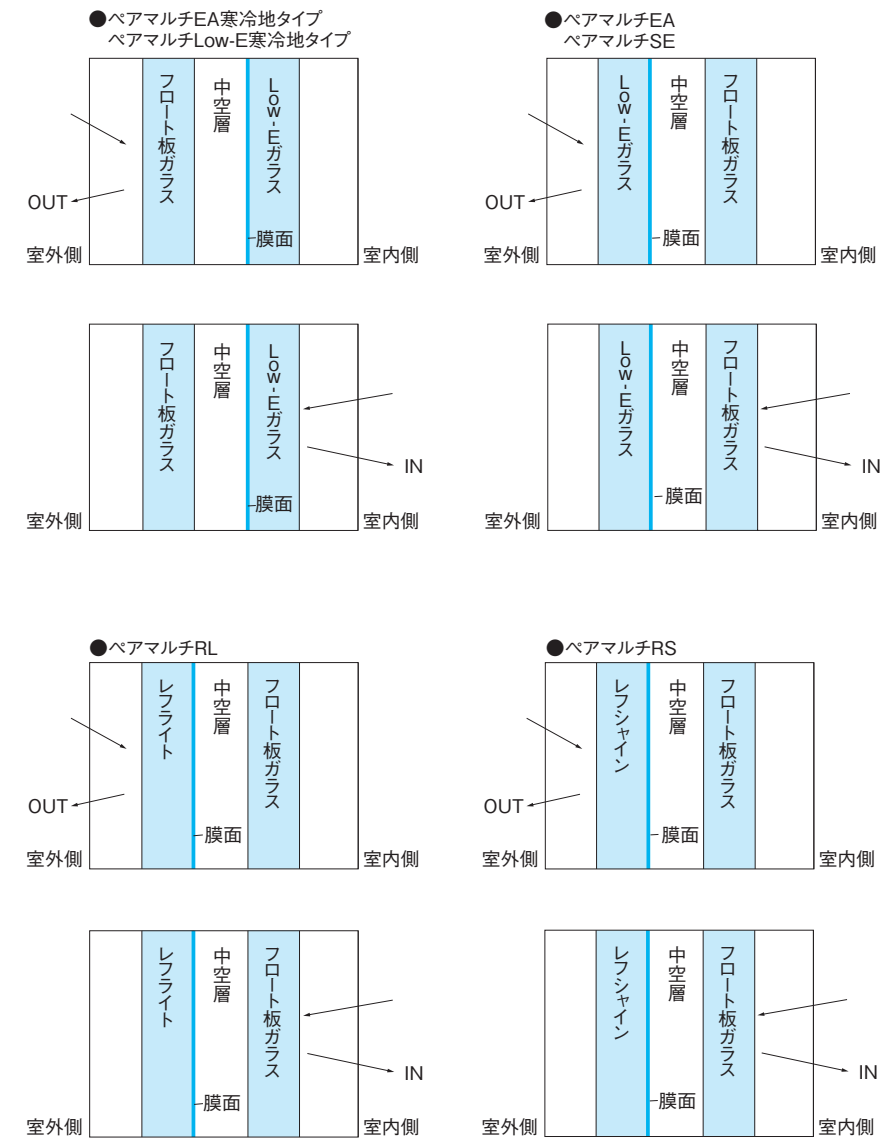
12 日射熱取得率は JIS R 3106:1998 に基づいて求めた値です。日射熱取得率とは窓ガラス面に垂直に入射する日射について、構成ガラスに吸収されて室内へ伝達される熱流と日射透過率を加えたものをいい、値が小さいほど日射熱の遮蔽性に優れて

います。

13 遮蔽係数は 3 ミリの厚さのフロート板ガラス（透明）の日射熱取得率を 1 とした場合の日射熱取得率の相対値です。

14 真空ガラスの真空層の熱コンダクタンスは、複層ガラスの性能の向上に関する熱損失防止建築材料製造事業者等の判断の基準等（平成 26 年 11 月 28 日経済産業省告示第 235 号）に準じます。

反射率のOUT-IN



真空ガラス
複層ガラス
学校用ガラス
強化ガラス
防火ガラス
防犯ガラス
強化ガラス・倍強度
合わせガラス
特殊機能ガラス
高透過ガラス
加熱・熱線反射
板ガラス
装飾ガラス
鏡・ライガラス
製品及び施工法
音響・防音・設計上の注意
ガラスの光学性能・熱的性能
製品一覧